

I 研究会テーマ

「子どもが意欲的に学習に取り組むための 効果的な情報機器の活用をめざして」

II 研究会テーマに迫るための手立て

（1）楽しみながら、意欲的に運動に取り組むために音楽を流す

本単元では、力試しの運動遊びや用具を操作する運動遊びを通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わう事を主な目的とする。力試しの運動遊びや用具を操作する運動遊びは、運動経験の少ない子どもにとっては取り組みづらく、苦手意識をもってしまう場合もある。

子どもたちはこれまでも、運動会での表現・リズム遊びにおいて音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを経験している。体育の学習中においても、主運動の際に音楽を流すことで、運動に苦手意識のある子どもたちでも、楽しみながら、意欲をもって運動に取り組むことができると考える。その際には、流す曲の精選を心がけたい。音楽の学習の際においても、子どもたちは曲に合わせて自然に体を動かしている。その動きは、曲の雰囲気、テンポ、リズム、歌詞、フレーズによって全く異なるものである。力試しの運動遊びや用具を操作する運動遊びを通して、教師が身に付けさせたい、経験させたい動きを引き出すことができるような雰囲気、テンポ、リズム、歌詞、フレーズの曲を精選し、流すようにしたい。また、音楽を流すことで、楽しい雰囲気の中で運動に取り組むことができると考えるが、楽しさではなくふざけにつながってしまい、本来の意図から逸れてしまうことも予想されるので、音楽を流すタイミングにも留意するようにしたい。

また、準備、片付け、準備運動、整理運動の際にも曲を流し、「この曲が流れたら準備をする」というように、子どもが今何をすべきか理解し、主体的に行動することができるようにしたい。そうすることで、学習をスムーズに進めることができ、運動の時間、量を確保することができると思う。

（2）友達のよい動きを見つけることができるような掲示

本単元では、力試しの運動遊びや用具を操作する運動遊びを通して、友達のよい動きを見つけ、友達とお互いに見合いながら楽しく運動遊びをすることで、よりよい友達同士のかかわり合いへとつながるようにしていきたい。そのために、子どもたちが「友達のよい動きを見つける」ことができるような指導を心がける。具体的に、前時での子どものよい動きを撮影しておき、掲示物を作成し、授業のはじめに紹介したり、授業のまとめに子どものよい動きを紹介したりすることで、子どもたちがよい動きの視点をもつことができるようにする。

Ⅲ 学習指導案

体育科学習指導案

体づくり運動（多様な動きをつくる運動遊び）

「ムキムキぴょんぴょん 運動遊びをしよう」

- 1 日時・場所 平成26年1月29日（水）第5校時 場所 体育館
- 2 学年・組 2年 2組 24名
- 3 単元について

<児童の実態>

本学級の子どもは、活発で体を動かすことが大好きな子どもが多い。休み時間には誘い合って運動場で遊んでおり、男子はボール遊び、女子は鬼遊びや遊具遊びをしたりする姿が見られる。体育科の学習活動への意欲は高く、多くの子どもが体育の時間を楽しみにしている。

一方で、できないことに挑戦したり、積極的に取り組んだりという意欲が感じられない子どももいる。

体育科の学習では、4月当初は、体の硬さや動きのぎこちなさの見られる子どもが多いと感じてきた。また、力を合わせることや、友達同士のかかわり合いが得意ではない子どももあり、順番やきまりを守って活動することができず、楽しくゲームに取り組み競い合うことが難しかった。しかし、運動経験を積み重ねることで動きのコツをつかみ、徐々に運動ができる喜びを感じることができるようになってきた。また、マットを使った運動遊びや水遊びなどを通して、順番やきまりを守ると楽しく活動することができていることに気付けるようになってきた。しかし、お互いに教え合いながら学習する姿は少なく、子どもたち同士が助け合ったり、温かい声を掛け合ったりする場面もあまり見られない。

<単元構想>

本単元では、子どもたちができないことに挑戦したり、意欲をもって積極的に学習に取り組んだりできるように、力試しの運動遊び、用具を操作する運動遊びの特性を踏まえた場を設定したり、遊び方を工夫したりしていきたい。

力試しの運動遊びでは、いろいろな用具（綱や棒、新聞紙）を使って重心を低くした引っ張りっこ遊びや、手と足を使っていろいろな形のトンネルをつくり、その下をくぐる、トンネルくぐり遊びを基本とした様々な場を準備し、子どもたちが力一杯多様な運動遊びに繰り返し取り組めるようにする。

用具を操作する運動遊びでは、短なわとボールを扱う。短なわでは、前回し跳びや後ろ回し跳びなどのいろいろな動きに繰り返し取り組む中で、タイミングを合わせて跳ぼうとする動きへとつなげていきたい。ボールを使った運動遊びでは、ボールを高く投げ上げて捕ったり、いろいろな姿勢でボールを投げ上げて捕ったりする動きを基本とした指導をする。

また、友達のよい動きを見つけ、友達とお互いに見合いながら、楽しく運動遊びをすることで、よりよい友達同士のかかわり合いへとつながるようにしていきたい。そのために、授業のはじめと終わりに子どものよい動きを紹介することで、活動の中で友達のよい動きに注目したり、自分の運動に取り入れたりすることができるようになりたい。さらに、常に4人グループで運動遊びに取り組むことで、仲間と協力したり競い合ったりすることができるようになりたい。

＜単元目標＞

- 【技能】 力試しをしたり、用具を操作したりする動きができる。
- 【思考・判断】 力試しの運動遊びや用具を操作する運動遊びの行い方を工夫している。
- 【態度】 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲良く運動したり、場の安全に気を付けようとしていたりしている

4 単元の評価規準

運動	運動についての思考・判断	運動についての関心・意欲・態度
・用具を操作したり力試しをした りする動きができる。	・体つくりのための運動の行い方 を工夫している。 ・友達のよい動きを見つけること ができている。	・体つくり運動に進んで取り組む とともに、きまりを守り仲良く運 動しようとしたり、運動をする場 の安全に気を付けようとしたりし ている。

5 運動の特性（子どもたちに味わわせたい楽しさや喜び）

- ・力試しの運動遊びは人を押す、引く、運ぶ、支えるなどしたり、力比べをしたりして、自己の力を試したり、仲間と協力して競い合ったりすることで、体を動かす楽しさや心地よさ
- ・用具を操作する運動遊びはボールを投げたり、捕ったりする動きや短なわを回す動きに合わせて、自分の体を操作することができるようになる楽しさ

6 指導計画（全5時間）

	学習のねらいと予想される活動	教師の指導（○）と評価（◆）
はじめ (つかむ) ①	1 場の準備と準備運動をする。	
	2 今日のめあてを確認する。	
	ポンポン・ひっぱりあそびをたのしもう	
	3 用具を操作する運動遊びをする。 ○投げる・捕るの運動遊びをする。 ・上に上げてキャッチ ・手をたたいてキャッチ	○はじめは、しっかりキャッチできる高さに上げるようにし、少しずつ高くしていくように指導する。 ◆膝を伸ばす反動を利用して、ボールを投げ上げることができる（技） ◆投げ上げたボールと自分の位置を確認することができる（技）
	  	
	4 力試しの運動遊びをする。 <引く運動遊び> ○ひっぱりっこ遊びの方法を知り、行う。 ・手で	◆運動の行い方を理解している（思） ○手のつなぎ方や互いに手を引くときの姿勢を指導する。 ○引き合う場合は、いきなり強く引かないように注意するよう指導する。 ◆引き合い遊びで引き動かすことができる（思）
		
	5 本時を振り返り、次時のめあてをもつ。 ・できるようになった動きの発表 ・がんばっていた友達の紹介	○自分や友達のよかったところを見つけられた子を称賛し、次の時間に意欲をもてるようにする。
	6 後片付けをする。	
	7 整理運動をし、体調やけがの有無を確認する。	

1 場の準備と準備運動をする。

2 今日のめあてを確認する。

ポンポン・ひっぱりあそびをたのしもう

3 用具を操作する運動遊びをする。

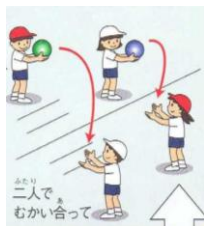
○いろいろなボールキャッチに挑戦してボール遊びに取り組む。

- <一人で>
- ・座って
 - ・寝転んで



<二人で>

- ・少しずつ距離を変えてキャッチボール



4 力試しの運動遊びをする。

<引く運動遊び>

○いろいろなひっぱりっこ遊びを行う。

- ・ボールを使って
- ・ぼうで



5 本時を振り返り、次時のめあてをもつ。

- ・できるようになった動きの発表
- ・がんばっていた友達の紹介

6 後片付けをする。

7 整理運動をし、体調やけがの有無を確認する。

○前時での子どものよい動きを掲示し、振り返ることで、友達のよい動きを見つけながら運動遊びに取り組むことができるようにする。

○膝を伸ばす反動を使って投げ上げることやボールの動きに合わせて手のひらを引きながら捕ることなど、動きのポイントを指導する。

◆ボールを真上に投げ上げることができる(技)

◆体勢を変えても落とさずにボールをキャッチすることができる(技)

○投げる・捕るがしっかりできている子どもには、二人でお互いに投げたり捕ったりしてみるように助言する。

◆ボールの動きに合わせて、手のひらを引いてボールを捕ることができる(思)

○短い棒や綱を使って、重心を低くし、両手や片手で引き合うように指導する。

○人数や棒や綱の本数を変えて引き合うように声をかける。

○自分や友達のよかったところを見つけられた子を称賛し、次の時間に意欲をもてるようにする。

1 準備運動をする。

2 今日のめあてを確認する。

ピョンピョン・トンネルあそびをたのしもう

3 用具を操作する運動遊びをする。

○一人でのなわとび遊びを楽しむ。

- ・前回し跳び（1回旋1跳躍）
- ・後ろ回し跳び
- ・30秒で何回跳べるか



○二人でのなわとび遊びを楽しむ。

- ・二人跳び
- ・鏡跳び
- ・電車跳び



○どんな跳び方や回し方をしたか紹介する。

○挑戦したいなわとび遊びに取り組む。

4 場の準備をし、力試しの運動遊びをする。

＜トンネルくぐり遊び＞

○手と足を使って、いろいろな形のトンネルをつくり、その下をくぐる。

- ・2人組で



5 本時を振り返り、次時のめあてをもつ。

- ・できるようになった動きの発表
- ・がんばっていた友達の紹介

6 後片付けをする。

7 整理運動をし、体調やけがの有無を確認する。

◆きまりを守り、友達と助けあって運動することができている。(関)

◆友達のよい動きを見つけ、自分の運動に取り入れている(思)

○うまくできなくて楽しめていない子どもには、1回旋2跳躍や前に回してなわを跳び越えるなど優しい条件で楽しめるように声をかける。

○ペアで曲に合わせて跳び、お互いに何回跳べたか数えるようにし、励まし合えるかかわり合いをつくる。

◆短なわで、前の連続両足跳びができる。(技)

○4人グループの中で、様々なペアで取り組むように声をかける。

○子どもが挑戦したいと思う跳び方を紹介し、めあてをもてるようにする。

○両手支持ができる子は片手で挑戦してみるように声をかける。

○姿勢保持で、無理のないように声をかける。

◆手と足を使って、姿勢を保持することができる(技)

○自分や友達のよかったところを見つけられた子を称賛し、次の時間に意欲をもてるようにする。

なか (楽しむ) ④ 本時	1 準備運動をする。 2 今日のめあてを確認する。 ピョンピョン・トンネルあそびをたのしもう 3 用具を操作する運動遊びをする。 ○一人でのなわとび遊びを楽しむ。 ・30秒で何回跳べるか   ○二人でのなわとび遊びを楽しむ。 ・二人跳び ・鏡跳び ・電車跳び    ○どんな跳び方や回し方をしたか紹介する。 ○挑戦したいなわとび遊びに取り組む。 4 場の準をし、力試しの運動遊びをする。 ＜トンネルくぐり遊び＞ ○手と足を使って、いろいろな形のトンネルをつくり、その下をくぐる。 ・3、4人組で  5 本時を振り返り、次時のめあてをもつ。 ・できるようになった動きの発表 ・がんばっていた友達の紹介 6 後片付けをする。 7 整理運動をし、体調やけがの有無を確認する。	○前時での子どものよい動きを掲示し、振り返ることで、友達のよい動きを見つけながら運動遊びに取り組むことができるようにする。 ◆きまりを守り、友達と助けあって運動することができる。（関） ◆友達のよい動きを見つけ、自分の運動に取り入れている（思） ○うまくできなくて楽しめていない子どもには、1回旋2跳躍や前に回してなわを跳び越えるなど優しい条件で楽しめるように声をかける。 ○ペアで曲に合わせて跳び、お互いに何回跳べたか数えるようにし、励まし合えるかかわり合いをつくる。 ○前時の回数と比較できるようにし、めあてをもって取り組むことができるようにする。 ◆短なわで、前の連続両足跳びができる。（技） ○4人グループの中で、様々なペアで取り組むように声をかける。 ○子どもが挑戦したいと思う跳び方を紹介し、めあてをもてるようにする。 ○両手支持ができる子は片手で挑戦してみるように声をかける。 ○姿勢保持で、無理のないように声をかける。 ◆手と足を使って、姿勢を保持することができる（技） ○自分や友達のよかったところを見つけられた子を称賛し、次の時間に意欲をもてるようにする。
---------------------	--	---

まとめ (豊かにする)	1 場の準備と準備運動をする。	
	2 今日のめあてを確認する。	
	ムキムキピョンピョンランドで いろいろなあそびをたのしもう	
	3 ムキムキピョンピョンランドで遊ぶ。 ・選んだコーナーで動きを高めたり工夫したりする。	○これまでに取り組んだ動きをもとに場を設定し、子どもが自分たちで取り組めるよう運動の行い方を、分かりやすく掲示しておく。 ○グループを場の数（4グループ）にわけ、時間で区切り、全部の場の運動遊びができるようにする。 ○今までの学習ででてきた動きのポイントや工夫を場のそばに掲示し、子どもたちが楽しめるようにする。
	★トンネルコーナー ○トンネル遊び	○両手支持ができる子は片手で挑戦してみるように声をかける。 ○姿勢保持で、無理のないように声をかける。
	★ひくコーナー ○つなひきゲーム ○ひっぱりっこ	○短い棒や綱を使って、重心を低くし、両手や片手で引き合うように指導する。 ○人数や棒や綱の本数を変えて引き合うように声をかける。
⑤	★ボールキャッチコーナー ○立ってキャッチ ○座ってキャッチ ○二人でキャッチ	○投げる・捕るがしっかりできている子どもには、二人でお互いに投げたり捕ったりしてみるように助言する。
	★なわとびコーナー ○二人とび ○かがみとび ○電車とび ○前回しとび ○後ろ回しとび	○二人組みで、お互いに何回跳べたか数えるようにし、励ましあえるかかわり合いをつくる。 ○いろいろな跳び方を紹介しあい、やりたい跳び方に挑戦して楽しむようにする。
		◆友達のよい動きを見つけ、自分の運動に取り入れている（思） ◆力試しの運動遊びや用具を操作する運動遊びができている（技）
	4 学習を振り返る。 ・できるようになった動きの発表 ・がんばっていた友達の紹介	○自分や友達のよかったところを見つけられた子を称賛する。
	5 後片付けをする。	
	6 整理運動をし、体調やけがの有無を確認する。	

7 本時について (4 / 5)

(1) 本時目標

用具を操作する運動遊びや力試しの運動遊びを楽しむことができる。

(2) 本時計画

主な学習活動	○教師の指導 ◇評価
1 準備運動をする。 ♪BGM① 2 本時のめあてと学習の進め方を確認する。 ピョンピョン・トンネルあそびをたのしもう。 3 用具を操作する運動遊びをする。 <なわとび遊び> ○一人でのなわとび遊びを楽しむ。 ・30秒で何回跳べるか ♪BGM②   ○二人でのなわとび遊びを楽しむ。 ・二人跳び ・鏡跳び ・電車跳び  ○どんな跳び方や回し方をしたか紹介する。 ○挑戦したいなわとび遊びに取り組む。 	○曲に合わせて楽しく運動することが準備運動になるようにする。 ○学習の流れを確認し、見通しをもって活動に取り組むことができるようにする。 ○前時での子どものよい動きを掲示し、振り返ることで、友達のよい動きを見つけながら運動遊びに取り組むことができるようにする。 ◆きまりを守り、友達と助けあって運動することができている。(関) ◆友達のよい動きを見つけ、自分の運動に取り入れている(思) ○うまくできなくて楽しめていない子どもには、1回旋2跳躍や前に回してなわを跳び越えるなど優しい条件で楽しめるように声をかける。 ○ペアで曲に合わせて跳び、お互いに何回跳べたか数えるようにし、励まし合えるかかわり合いをつくる。 ○前時の回数と比較できるようにし、めあてをもって取り組むことができるようにする。 ◆短なわで、前の連続両足跳びができる。(技) ○4人グループの中で、様々なペアで取り組むように声をかける。 ○教師が実態を見て全員に取り組ませたいと思った跳び方を紹介する。その中で子どもがやってみたいと思った跳び方にチャレンジできるようにする。

4 場の準備をし、力試しの運動遊びをする。

♪BGM③

<トンネルくぐり遊び>

○手と足を使って、いろいろな形のトンネルをつくり、その下をくぐる。

- ・2人組で
- ・3、4人組で



5 本時を振り返り、次時のめあてをもつ。

- ・できるようになった動きの発表
- ・がんばっていた友達の紹介

♪BGM④

6 後片付けをする。

♪BGM⑤

7 整理運動をし、体調やけがの有無を確認する。

○友達と協力して準備をしている子どもを称賛する。

○両手支持ができる子は片手で挑戦してみるように声をかける。

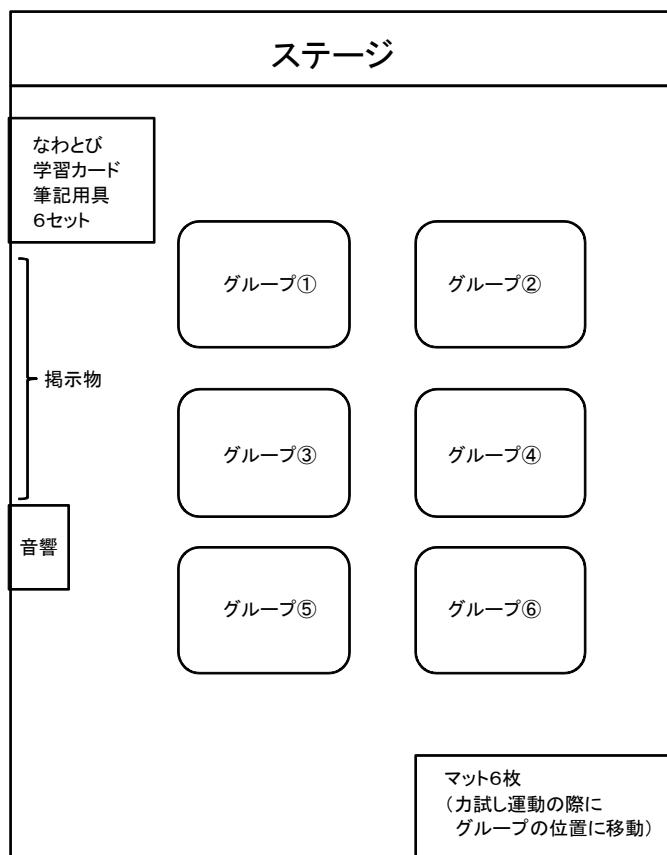
○姿勢保持で、無理のないように声をかける。

◆手と足を使って、姿勢を保持することができる(技)

○自分や友達のよかったところを見つけられた子を称賛し、次の時間に意欲をもてるようにする。

○しっかりクールダウンし、リラックスできるような曲を流し、整理運動に取り組めるようにする。

8 場の設定



出入口

